各事業の概況

国内教育

連結売上高の40%以上を占めるグループの主要事業。 教育・入試改革を機会点にさらなる成長を目指してい ます。





事業の強み

- 教育分野で長年培ったお客さまからの信頼と圧倒的な顧客基盤
- ●業界No.1の事業スケールと、小学校から高校までの学校と小中高校生の校外学習をカバーする総合力
- ●教材開発から入試対策、学習・進路指導などを通じて、 "自ら学ぶ力と意欲向上"を支援してきた豊富な教育知見
- ●顧客中心の理念を体現する多彩な人材と企業文化

社会変化

機会

- ●大学入試改革や新学習指導要領の施行
- ●英語4技能の進展と英語学習の早期化
- ●4年制大学卒 / 共働き世帯の増加による 保護者意識の変化
- 教育の地域格差、学校格差の拡大

リスク

- ●少子化による市場の停滞・縮小
- ●デジタル系新規参入企業の台頭、 競合企業の活発化による競争激化
- ●デジタル化の進展による教育コンテンツの コモディティ化、価格破壊の進行

2020年度目標

売上高年平均成長率(CAGR) 7%

- ●教育・入試改革を最大の事業機会と捉え、各事業で成長戦略を推進
- ●競争力のある英語4技能検定「GTEC」を軸に、総合力を活かした取り組みを展開

2018年度の成果

- ●進研ゼミの延べ在籍数が増加 学校向け事業、学習塾事業も順調に伸長
- ●進研ゼミの商品強化に向けた投資や「GTEC」など 教育改革に向けた投資を吸収し、増収増益を達成



進研ゼミ事業

価格改定するも会員数の拡大を実現 今後は継続率を重視し利益成長へ

上席執行役員 ゼミカンパニー長 ベネッセコーポレーション取締役 山元 倫明



2018年度の成果

- ●年間平均継続率が堅調に推移、 新規入会は対前期比プラスも計画未達
- ●「英語4技能習熟度別トレーニング | をリリース p.25



2019年度の施策

- ●「会員数成長」から「利益成長」重視の戦略に 転換し、顧客満足度向上を追求
- ●商品・サービスのデジタル化で個別性を向上

TOPICS

「英語4技能習熟度別トレーニング」をリリース

小中高校生の進研ゼミの受講者を対象に、2019年4月から新教材「英語4技能習熟度別トレーニング」の提供を開始しました。ご自宅で受講者の力に合わせて、「聞く・読む・話す・書く」の4技能をバランスよく伸ばせる点が評価されています。





いつでもどこでも自学自習ができるよう、進研ゼミの学習専用タブレットはもちろんお手持ちのPC、スマートフォンに対応

TOPICS

「チャレンジタッチ」の機能を強化

進研ゼミ小学講座では、学習専用タブレットを利用した「チャレンジタッチ」スタイルの利用者数が拡大しています。デジタル教材の利点を活かし、学習内容の定着に不可欠な解き直しを促すことで、レッスンの完遂率と正答率を向上させています。さらに、2019年度からは重要問題を時間をおいて再度解き直すことができる「Wとき直し」機能も搭載。受講者の学習効果を高め、継続率のさらなる向上につなげていきます。



継続率向上に寄与する「チャレンジタッチ」

各事業の概況 国内教育

TOPICS

「すきま時間 |を有効活用できる「予習復習 効率UPアプリ |をリリース

進研ゼミ高校講座では、スマートフォンを使った教材の開発に注力しています。2019年4月には、「すきま時間」を有効活用できる「予習復習効率UPアプリ」をリリースしました。通っている高校で使用している教科書や数学副教材に対応した、予習・復習・宿題の「調べ学習」が効率的にできるのはもちろん、解き方や考え方を深く理解できるよう映像講義も用意。部活や友だち付き合いで忙しい高校生の生活実態や学習ニーズに応える工夫を凝らしています。さらに、アプリだけでは理解

できない場合には、進研ゼミのアドバイザーにアプリ内から質問できるなどきめ細かくサポートしています。併せて、6月からは中高生に人気を博している高校生動画クリエイターとのコラボレーションによって、YouTubeでアプリ紹介の動画を配信するなど、アプリ活用の促進を図っています。



教科書・参考書のページ 数にスマートフォンをか ざすと、最適なコンテン ツを表示

学校事業

教育・入試改革への迅速な対応で 学校現場に新しい学びの形を提供

取締役 兼上席執行役員 学校カンパニー長 ベネッセコーポレーション取締役副社長 Classi(株)代表取締役社長 山﨑 昌樹



2018年度の成果

- ●「GTEC」の受検者数、「Classi」の採用校が順調に伸長
- ●校務支援システムを提供する(株)EDUCOMを子会社化し、Classi(株)と戦略的パートナーシップを締結

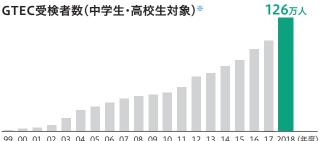
2019年度の施策

- ●教育・入試改革へ迅速に対応
- ●学校への支援を強化し、事業を拡大

TOPICS

高校における英語教育の優位性を さらに高めるために

2020年度からの大学入学共通テストで使われる民間英語 4技能検定の一つに「GTEC」が採用されました。全国の高校など約1,850校に採用され、年間延べ受検者数が126万人を超える広がりを見せています。入試の一翼を担う責任を果たし、子どもたちに「使える英語」を身に付けてもらえるようサポートし続けています。



99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 2018(年度) ※ スコア単独型検定(3技能受検者含む)での実施

TOPICS

全国の小学校1,600校で、 プログラミング教育支援を開始

2020年度から施行される新学習指導要領では、小学校でのプログラミング教育が必修化されます。学校現場ではプログラミング教育に関する具体的な取り組みについて模索が始まる一方で、実施においてはさまざまな課題があります。なかでも、指導面での「人的支援の重要性」は大きな問題です。そこ

で、ベネッセでは独自開発したプログラミング教材とICTサポータ派遣サービスを掛け合わせて、無償で約1,600校に良質なプログラミング教育を実施できるようサポートしています。



専用プログラミングコンテンツ 「ミライシード I

TOPICS

「校務支援×学習支援 |で、学校教育の質向上に貢献

学校向け学習支援プラットフォームサービス「Classi」は、学校教育のICT化を「アダプティブラーニング」「アクティブ・ラーニング」「ポートフォリオ」「コミュニケーション」の4つの領域で支援するクラウドサービスです。現在、約2,500校、有料会員数は約116万人にのぼります。教育・入試改革で導入される「多面的・総合的評価」に対応し、ポートフォリオ機能を搭載するなど、時代が求める機能の提供に力を注いでいます。また、Classi(株)は小中学校向け統合型校務支援システムを提供する(株)EDUCOMと戦略的パートナーシップを締結しました。これによってClassi(株)の授業・学習支援系データと(株)EDUCOMの各種校務系データを活用し、質の高いきめ細やかな学校指導のサポートを実現します。学習支援と校務

の負荷軽減を通じて、先生がより子どもたちと向き合える学校 づくりを支援し、デジタルの力でさらなる「新しい学び」を創出 していきます。

ClassiとEDUCOMで戦略的パートナーシップを締結

高校領域に強み 国内最大級の 学習支援プラットフォーム



小・中学校領域に強み 国内最大級の 統合型校務支援システム



エリア・教室事業

学習塾事業の順調な拡大と 英語サービス強化

上席執行役員エリア・教室カンパニー長 ベネッセコーポレーション取締役 山河 健二



2018年度の成果

- 東京個別指導学院、鉄緑会の生徒数が増加
- ●進研ゼミと対面での学習指導を組み合わせた新サービス 「クラスベネッセ」が48教室に拡大
- ●子ども向け英語事業「BE studio」の拠点数を拡大

2019年度の施策

- ●独自の強みを活かし、学習塾をさらに拡大
- ●フランチャイズ方式で「クラスベネッセ」の 教室数を拡大
- ●英語4技能検定対策で他塾との連携を強化

TOPICS

個人別指導教室「クラスベネッセ」を フランチャイズ方式で拡大

2019年6月、進研ゼミ教材と対面での学習指導を組み合わせた個人別指導教室「クラスベネッセ」の直営教室とFC(フランチャイズ)教室を合わせた教室数が50教室になりました。自立して学べる子どもを育てるという理念のもと、進研ゼミ+オリジナル教材での少人数指導を軸に、フランチャイズ展開に力を入れながら2020年春までに全国80教室の開設を目指しています。



